

## 第62回 北海道医療ソーシャルワーク学会

### 開催要綱

#### 大会テーマ

「医療ソーシャルワーカーの実践を社会に示すために我々がなすべきこと」

～いま改めて実践を言語化する必要性について考える～

#### 大会趣旨

保健医療分野に医療ソーシャルワーカーがいることの意味や意義を、クライアントや機関内の多職種、地域共生社会の構築に関わるあらゆる人々にわかりやすくかつ説得力をもった形で説明する力が今私たちに求められている。果たして、私たちは自分たちの実践や存在意義を社会に対して適切に発信できているだろうか。あるいは、発信した情報が適切に社会に届いているだろうか。

診療報酬における社会福祉士の評価に象徴されるように、医療ソーシャルワーカーへの社会からの期待・要請は高まっている。一方で、「支援」よりも制度や組織が規定する「業務」に忙殺され、クライアントの権利や自己実現を保障する本来の役割が十分に果たせていない、効率ばかりが優先されて加算の算定件数が組織からの評価になってしまっているなどのネガティブな意見を多く耳にする。社会的な要請の高まりと反比例するかのようになり、医療ソーシャルワーカーの存在意義や魅力が薄れているという危機感さえ抱く。

しかし、私たちは危機や困難・課題を憂いてばかりの受動的な存在ではない。環境に働きかけ変化を促進する能動的な専門職である。社会からの期待に応え、真に評価を得るためには、医療ソーシャルワーカーの存在意義を見つめ直す原点回帰に止まらず、さらに一步踏み込んで我々自身が専門職としての実践を言語化し、社会に発信するアクションが必須ではないだろうか。

本学会では、ソーシャルワークがもつ変わらないもの・変えてはいけないものを再確認しつつ、社会や時代の要請に応じていく上で、今我々に求められる態度と具体的な行動について考え、理解を深める機会にしたい。

**主 催** 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会

**開催主管** 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 日胆支部

**日 程** 2019年6月22日(土)～23日(日)

**会 場** 蓬岫殿

〒050-0073 室蘭市宮の森町1丁目1番

TEL (0143) 44-3338

## 学会プログラム

【1日目】 6月22日(土)

9:00～ 10:30	10:45～ 12:15	13:00～ 15:00	15:30～ 15:55	16:00～ 17:30	17:45～ 18:45	19:00～ 21:00
自主企画	自主企画	定期総会	開会式	基調講演	シンポジウム	懇親会

【2日目】 6月23日(日)

9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	12:20～ 12:40
研究発表	教育講演	閉会式

### 基調講演

講師：小西加保留 氏  
京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 福祉生活デザイン学科教授

### 教育講演

講師：三島亜紀子 氏  
同志社大学社会福祉教育・研究支援センター嘱託研究員

### 後援(予定)

北海道 室蘭市 (一社)北海道医師会 (一社)室蘭市医師会 (公社)北海道看護協会 (公財)北海道健康づくり財団 (福)北海道社会福祉協議会 (福)室蘭市社会福祉協議会 (一財)北海道難病連 (公社)日本医療社会福祉協会 (特非)北海道ソーシャルワーカー協会 (公社)北海道社会福祉士会 (一社)北海道精神保健福祉士協会 (公社)北海道作業療法士会 (公社)北海道理学療法士会 (一社)北海道言語聴覚士会 (一社)北海道介護福祉士会 (一社)北海道精神障害者家族連合会 北海道認知症の人を支える家族の会 (一社)北海道老人保健施設協議会 北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会 (一社)北海道介護支援専門員協会 北海道訪問看護ステーション連絡協議会 (順不同)

### 問い合わせ先

第62回 北海道医療ソーシャルワーク学会 事務局  
医療法人 登別すずらん病院 地域連携室 紙本雅也  
〒059-0027 登別市青葉町34番地9 Tel:0143-85-1000 直通 Fax:0143-81-2023  
Email:m-kamimoto@suzuran-hosp.or.jp